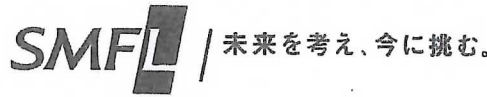


AI適用拡大

幾は、AIの適用範囲
本年度末までにAI実
(累計)約70件に。



未来を考え、今に挑む。

三井住友ファイナンス&リース

www.smfl.co.jp

日刊

THE NIKKAN

工業

KOGYO SHIMBUN

新聞

8月10日 日曜日

2020年(令和2年)

TODAY

28 深層断面



マスクする夏 メイクの新常態
夏の暑さがピークを迎えよう
としている。感染拡大が収まら
ない新型コロナウイルスの影響
で、夏でもマスクが必需品とな
り、化粧品をめぐる環境が一変
した。マスクが手放せない夏
の、メイクのニューノーマル
(新常態)に迫る。

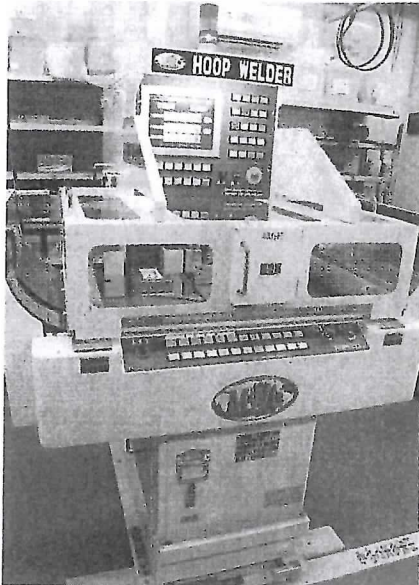
07 タイヤ4社一営業黒字予想
自動車業界、回復基調/通期

08 鍛圧機械、7月26%減
海外、車向け厳しく/日鍛工

無人で電磁鋼板接合

デンソー・ムラタ溶 ムラタ溶研 装置を共同開発

デンソーとムラタ溶
研(大阪市淀川区、村
田倫之介社長、06・
6390・6768)
は、無人運転対応の電
磁鋼板用接合装置を共
同開発した。デンソー
が自社工場に導入。車
両電動化やモーターシ
ェネレーター(MG)
の需要増を見込み、モ
ーターコア加工プレス
ラインの効率化を進め
る。自動接合でライン
停止ロスを現状の約15
%から5%以下
に抑制する計
画。ムラタ溶研
は、モーターメ
ーカールや自動車
関連メーカー向
モーターコアの
生産性向上に寄
与する(電磁鋼
板用接合装置)



共同開発機の初号機
を使い、8月内をめぐ
りにデンソーで試作を始
める。電磁鋼板コイル
材の交換作業を不要に
し生産効率化や品質の
安定につなげる。
プレスラインの各種
機械と同期制御運転
し、先行するコイル材
がなくなる間にプレ
ス機と、後行材を繰り
出すアンコイラーの間
に自動で移動し、材料

端末同士を溶接する。
ムラタ溶研の従来機は
溶接は自動だが、端末
の突き合わせやスレ修
正、クランプなどの段
取りは手作業だった。
新型機では位置検出
するセンサーと、正確
に送給するローラー、
位置矯正するマグネッ
トクランプなどで段取
りを自動化。電流や速
度、アーク長など最適
な溶接条件にする制御
と、独自の狭帯ノズ
ルで溶接品質向上と電
極長寿命化も図った。
対応厚さは、最薄で
0.15mm。現在主流
の電磁鋼板より薄く、
積層数拡大で高性能化
が進むモーターコアの
市場ニーズに対応す
る。モーターコアは、
原価の約8割を占める
電磁鋼板が世界的な電
動化需要で調達価格が
下がる見込みも薄い。
このため、プレスの高
速化やロス・不良率低
減がモーター関連各社
の課題となっている。

モーターコアの
生産性向上に寄
与する(電磁鋼
板用接合装置)